

第15回

- 講演者：西山 高弘 氏 (山口大学)
 - 題目：クーロン波動関数の定常オイラー流への応用
 - 日時：平成18年12月4日 (月) 11:00～12:00

よく知られていることだが、 2 次元フーリエ級数の各基底は 2 次元定常オイラー流の流れ関数になっている。一方、円筒領域において、特殊関数などを用いて具体的に記述される直交関数系で、各基底が軸対称定常オイラー流(旋回を伴わないもの)のストークス流れ関数になっているものは全く知られていなかった。講演では、この直交関数系が、主に量子力学で用いられる特殊関数の一つ、クーロン波動関数で表せることを紹介する。

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2006/015>

Last update: **2017/11/17 17:24**

